

令和2年度実績概要

1. 総合戦略概要

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少や少子高齢化、それに伴う社会経済活動の縮小といった問題に、国と地方が一体となって取り組むために、策定した計画です。

総合戦略は、5つの基本目標からなっており、目標ごとに、「数値目標」がふたつと、「KPI」という指標をいくつか設定しています。数値目標は、各事業が実施されたことで社会がどう変わったかという「成果」を示しているのに対し、KPIは「個々の事業の活動量」を示しているものです。本計画の第1期は平成27年度から令和元年度までで終了し、昨年度総括を行いました。令和2年度からは第2期がはじまり、令和6年度までの5年間を計画期間としています。

今回は、第2期総合戦略の最初の進捗状況報告になります。

2. 資料2の見方



実績値が前年度よりも後退したもの、または変化の激しいものについて、事業担当課で原因が把握できる場合は、備考欄に記載がございます。

3. 議題1概要

数値目標とKPI、合わせて52のグラフがありますが、目安の線どおり、あるいは線を越えた実績のグラフは32、目安を下回ったグラフは20で、コロナ禍で思うように実績がのびなかつ

た事業もごさいます。

事務局として目標値や事業の変更も検討いたしましたが、目標値はあくまで5年間の成果であること、数字の変化が新型コロナウイルスによる影響のみなのか、他の要因の影響は無かったかの判別ができないことなどを考慮し、変更しないこととしました。

3. 議題2概要

資料3は、国から地方創生推進交付金を受けている「尾州テキスタイル産業のブランド化事業」の報告です。平成28年度からの5年間の事業で、令和2年度は最終年度となりました。

地方創生推進交付金に関する重要業績評価指標(KPI)の実績値等の指標のうち、「①有名アパレルブランドと市内企業の契約件数(単年度)」(資料2 21 ページ)は平成30年度まで件数が伸びておりましたが、令和2年度はコロナ禍によりマッチング事業が中止となったため0件となり、目標値の8件は達成できませんでした。

指標の「②テキスタイル産業における人材育成事業受講者数(平成28年度からの累計)」(資料2 22 ページ)は、コロナ禍への対応のためWEB開催を行ったところ、特に総合展「THE 尾州」のセミナーで多数の受講があり、目標値の累計受講者数4,200人を超える4,308人の受講者数となりました。

事務局としては、コロナ禍の影響があったものの、国に報告するにあたっては、事業の実施は、“KPIの達成に有効である”との意見を付したいと考えております。